

令和7年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立吉舎中学校
学校長名 名 越 隆 樹

I 学校の状況

学級数	普通学級 3 特別支援学級 2	生徒数	普通学級 5 2 特別支援学級 3	教職 員数	常勤者 1 4 名 (県費 1 6 名)
メールアドレス	kisa-j@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/kisa-j/				

II 学校教育目標

- 吉舎中学校区小中一貫教育目標
「自ら学び 考え 自立した行動ができる『きさ』の子ども」の育成
- 吉舎中学校教育目標
志高く学び 吉舎に貢献する生徒の育成

めざす生徒像

- 志ある生き方を求め 感謝する心をもった生徒
- 自分の意見をもち 表現できる生徒
- 故郷を愛し、貢献する生徒

III 使命・存在意義（ミッション）

- 「学ぶ意欲」と「地域愛」を育み、主体的に社会や地域に貢献する人材を育成する。

めざす学校像（ビジョン）

- 輝け 吉舎中！ ～挨拶・笑顔 花と歌声のあふれる学校～
 - ・安心して学べる学校（学びたい物的環境、人的環境の整った学校）
 - ・生徒の可能性を広げることができる学校（なりたい自分となれる自分の幅を広げることができる学校）
 - ・保小中高、地域の連携の要となる学校（吉舎中学校区コミュニティ・スクールの推進）
（連携を通して、思いやり、誇り、自信、憧れ、見通し、地域愛を育てることができる学校）

IV 重点事項（努力点）本校で育成しようとする資質・能力

- 学ぶ意欲を育てる環境づくり…「思いやり」「承認」「規範意識」の育成
- 学ぶ意欲を育てる授業づくり
 - ・「主体性」の育成＝（自ら判断・決定し、最後まで責任持って行動する態度）
 - ・「コミュニケーション能力」の育成＝「聴く力」「質問力」「表現力」「対話力（自己・他者）」
 - ・「志向性」の育成＝（なりたい自分へ挑む力）

V 中心課題・行動規範

「生徒の自律のためになるか、ならないか」で主体的に判断・挑戦し、行動する自律した教職員
○ 目標となるリーダー ・人の先頭に立って行動し、模範を示すことができる教職員 ・生徒の思いを受け止め、厳しくも温かい指導のできる教職員 ○ 自分の行動に自覚と責任を持つ教職員 ・不祥事を許さない教職員 指摘しあえる教職員 協働しあえる教職員 ○ 愛校心、地域愛をもつ教職員

VI 現状分析

外部環境	【支援的要因】 ◇地域学校支援者の存在 ・吉舎町（よきやどり）まちづくり検討委員会 ・吉舎町自治振興連合会 【よっしゃさんさい】 ・青少年育成吉舎町民会議との連携 ◇県教委・市教委によるブランドデザイン及び具体的施策 ◇みよし学びの共創プランの推進 ◇「きさ」小中一貫教育推進協議会での連携 ◇保・小・中・高連携 ◇生徒の活動の積極的発信 ◇空調等の学習環境整備	【強み】 ◇生徒の進路実現を目指し、チームワークを意識した教職員 ◇生徒指導の迅速・組織的対応 ◇自治活動を中心とした様々な活動に積極的に取り組む生徒の存在 ◇学校・学年行事、PTA活動、部活動等に協力的な保護者 ◇i-check「発信力」「社会参画」「学級の絆」「学習習慣」が良好である	内部環境	【支援的要因と強みを生かした取組】 ・コミュニティ・スクールの推進（学校・地域・保護者との協働教育） ・「吉舎できさの子どもを育てる」保小中高連携教育の取組 ・部活動体制や学校行事やPTA行事等の見直しによる教育活動の焦点化 ・地域との交流及び外部人材の活用 ・生徒の成功体験につながる体験活動やボランティア活動の活性化（感動体験） ・積極的情報発信（通信、HP、新聞・テレビ）と公開
	【阻害的要因】 ◆子育てに不安を感じている家庭の存在 ◆教材研究や生徒と接する時間等の確保の困難性 ◆校舎・体育館等の施設・設備の老朽化 ◆講師の兼務校増で時間割編成が困難	【弱み】 ◆教職員が組織的に指導していく意識等の格差 ◆要約力、書いて説明する力が弱い ◆家庭学習（復習・予習）を計画的にできない生徒が多い ◆全体の前で自分の考えや意見が述べられない ◆家庭学習の習慣が身につけていない ◆i-check「対人ストレス」「友だちの支え」が課題		【弱みを克服し、阻害的要因と回避する解決策】 ・個に応じた指導（指導方法や教材・教具の工夫、ICTの活用） ・自学力の育成（家庭学習） ・一人一授業研究を通して「主体的・対話的で深い学び」の授業改善 ・学力・生活力向上のための小中連携 ・自己表現の場の設定 ・コミュニケーション能力の育成 ・生徒会委員会活動の活性化 ・行事等の取組を通じた集団づくり ・連携の取組の焦点化 ・行事計画の見直し

キーワード:「主体性」と「表現」

みよし結芽人～幸輝心～

広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力

「自己を認識し 自分の人生を選択し 表現することができる力」

（自己認識 ⇒ 自己開示 ⇒ 自己表現 ⇒ 自己実現）

1 「主体性」

- 生徒が自ら判断・決定し、最後まで責任持って行動する態度を養う
➡ 生徒会活動の充実、「きさ教育の日」の取組、小中クリーン活動
- 授業改善（「学びの変革」、「主体的・対話的で深い学び」、「ICTの活用」
「基礎基本の徹底」）（一人一授業研究、小中合同授業研究、主体的な研修、校内研修の充実）
- 各種大会、コンクールへの積極的参加・挑戦

2 「表現」

- 保小中高連携、コミュニティ・スクールでの共通取組（合同授業研究、きさ教育の日など）
- 表現活動の促進
（1分間スピーチ、班での話し合い活動、地域行事への参加など）
- 総合的な学習の時間の取組の深化、特別の教科道徳の時間の充実
- コミュニケーション能力の育成